

一章

道と道うべきはつねの道にあらず

道可道非常道

名と名づけるべきはつねの名にあらず

名可名非常名

無は天地の始まりを名づけ

無名天地之始

有は万物の母なるを名づく

有名萬物之母

ゆえにつねに無はもつてその妙を觀せんと欲し

故常無欲以觀其妙

つねに有はもつてその皦を觀せんとす

常有欲以觀其皦

この兩者同じ出して

此兩者同出而

名を異にし同じきなり これを謂うに玄

異名同謂之玄

玄のまた玄は 衆妙の門なり

玄之又玄衆妙之門

道「タオ」|| 老子が言おうとする「道」は、諸家の言う

「道」と違うので、原音に沿って「タオ」と訓じたい。

名「ナ」|| 名付けること、名付けられること。名付けられ

たもの(有)。ここでは「道」という「名」は他の人が常

に言う「道」とは違うことと、次に続く「無は天地の始ま

りを名付け、有は万物の起源を名づく」へ繋いでいる。

萬物「バンブツ」|| 万物。この世に存在するあらゆる物。

すべての「名付け／名付けられた物」。「萬物」は帛書甲本

乙本では「天地」とある。

母「ハハ」|| 子供を産む母。もと。起源。(中国音では

マで、無に通じる。)

妙「ミョウ」|| 優れている。美しい。深い。幽か。(内面

の真を示唆)

有「ユウ」|| 「無」から生まれたもの。存在。「名」の別

の謂。

觀「カン」|| 觀。心で見ろ。

皦「キョウ」|| 王弼本は「微」「邪靈を払って求める神靈

を迎える」としているが、本稿では馬王堆帛書甲本の「皦

「玉石、月光のような白さ、明るさ」を採った。

「皦」叫ぶ、泣く、口が使われているものもある

微皦皦|| いずれも同音「キョウ」。外面の真を示唆する語。

玄「ゲン」|| くる。あかぐる。深い色。静か。深く隠れた

もの。道の究極のあり方の一つ。

衆妙「シユウミョウ」|| あらゆる妙なるもの。

十一章

三十の輻は一つの轂と共にす

三十輻共一轂

まさにその無に車の用あり

當其無有車之用

埴をこねてもつて器をなす

埴埴以爲器

まさにその無に器の用あり

當其無有器之用

戸牖をうがつてもつて室をなす

鑿戸牖以爲室

まさにその無に室の用あり

當其無有室之用

ゆえに有のもつて利となすは

故有之以爲利

無のもつて用をなせばなり

無之以爲用

輻「ヤ」車輪をささえるスポーク。

轂「コク」 車輪の中心部。こしき。ハブ。

當「トウ」 当、まさに。

埴「エン」 埴ねる、かためる。

埴「シヨク」 土、粘土。

戸牖「コユウ」 戸口と窓。

鑿「サク」 いうがっ、掘る。

「有」(「名」があること／もの)が役に立つ(利を為す)

のは、「無」(「名」付けられないもの)がそこに働いている(用を為す)からである。

三十七章

タオは常に無為にしてしかも為さざるなし

道常無為而無不為

侯王若し能く之を守らば

侯王若能守之

万物種にお辱かられせん

萬物將自化

化してしかも作さんと欲せば

化而欲作

吾將に之を鑄めるに無名の樸をもってす

吾將鎮之以無名之樸

無名の樸はそれまたまさに無欲なり

無名之樸夫亦將無欲

欲せずしてもつて静ならば

不欲以静

天下はまさに自ずから定まらん

天下將自定

「侯王」⇨「聖人」

管理する権利権力を持っている者のこと。しかし、事実上持っていないなくても、天下に在り、万物の一つということとは、何者かを管理、支配、干渉する（次に出てくる「作（おこす）」という関係を生きている。

したがって、万物は誰もある部分は「侯王」である。

化⇨かわる。

あらたまる。
新しいものになる。

作⇨起す。始める。ここでは、欲を

起して余計なことをするの意。

樸「ボク」⇨あらぎ、なまき。

生まれのまま。
生地。もとのまま。

不欲⇨無為而無不意

四十章

はん^{タオ}は道^{ドウ}の動

反者道之動

じやく^クは道^{ドウ}の用

弱者道之用

天下万物有に生じ

天下萬物生於有

有は無に生ず

有生於無

「道^{タオ}」の動きは「反」である。あらゆる物の在りか

たの内部には反対の動きが働いている。

「弱」くて目立たない小さな存在^もが生かされてい

るのが「道^{タオ}」である。

この世に在るものすべてはそれぞれの起源、すな

わち「有」を持っている。

「生まれる」ということは「名付ける／名付けられ

る」ことにほかならない。

「名付けられたもの」はもともと「名はない」のだ
った。

名がないものに「名」をつける／名がないものが

「名」付けられる、「名」がなかったから「名付け」

ることが意味を持つ。これが「反」の働き。

（「生きている」ということは、つねにあたらしく

「物」に「名」を付け、名付けられていること）